（続き）

３点目は、チャレンジ精神です。今や同じ事を続けることが最大のリスクになっているのが現状です。新しいことに挑戦をして、仮にそれが失敗をしても、向こう傷は問わない、そういう農林水産省の空気、これを是非みんなの力で作り上げていってほしい。

危機感・広い視野・チャレンジ精神、この三つをこの一年間皆さんの胸の中に秘めながら日々仕事をしていただきたい。

そして、今自分がやっている仕事が本当に意味のある仕事なのかどうか、同じような仕事をまた一年繰り返すことが本当にいいのかどうか、それを真剣に考えて欲しい。これは８月の私の大臣就任時にも申し上げたことでありますが、流されてはいけません。やっていると見せかけるだけのアリバイ作りの仕事をしてはいけません。アリバイ作りの予算取りではいけません。本当に現実を動かす仕事を、自分の課の権限の中でやるにはどうしたらいいか、それを一人一人真剣に考えて、変えるべきところは直ちに変える。そしてもし大きく変えることが必要ならば、チャレンジしようじゃないですか。変える必要がなければ、堂々と続ければいいし、そもそも事業自体必要ないと思えば堂々とやめたらいい。私は皆さんに、今一度、自分の仕事の持つ意味というものを考え直して、本当に日本の農林水産業の現場が大きく動くような農林水産政策を是非とも実行をしていただきたいと思います。

現在のように、農林水産業を政府全体として盛り上げていこう、チャレンジを応援していこう、そういう環境、政治情勢というものは、めったにないですよ。是非この政治情勢を利用して、日本の農林水産業に新たな地平を拓いていこうではありませんか。皆さんと一緒に努力をしていきたいと思いますので、どうぞ私をこき使っていただけたらと思います。以上です。

本年もよろしくお願い申し上げます。

【しいたけ】
岩手県矢巾町にて、原木を活用した香りの強いしいたけを、生産者の皆様とPR。

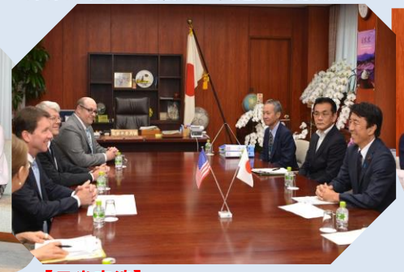
【中山間地農業】
福島県見祢（みね）集落を視察。日本特有の中山間地農業の問題点を認識。

【未来の道具】
パワーアシストスーツの効力を目の当たりにしました。未来がすぐそこまで来ています。

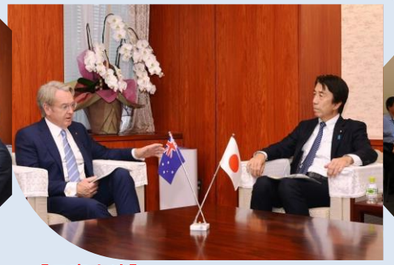
【餅つき】
子ども達に応援されると気合いが入りますが、終わるタイミングを逸します。

【成人式】
今年は穏やかな天気に恵まれた最高の成人式でしたね！地元の仲間を大切に！

【日中交渉】
キャリー・ラム香港特別行政区行政長官と農作物輸入規制について会談。



【日米交渉】
トランプ大統領が来日する前に、ハガティ駐日アメリカ大使と事前会談。



【日豪交渉】
オーストラリアのコート駐日大使と牛肉分野などについて真剣に議論。

【勉強会】
国会見学と一緒に開催した勉強会に石破先生が駆け付けてくれました。

【柔道】
稽古の後にみんなでお雑煮。冷え切った体を保護者の想いが優しく温めます。

【出展ブース】
地理的表示フェスティバルにてブースを激励。こだわりの逸品に出会います。

【林業の潜在能力】
林業の現場を視察。森林はあれど林道が不足している実情を目の当たりにしました。

【GAP認証】
昼食ではありません！これも仕事なんです！役職がら試食の機会も多くなりました。

【勲章】
国や地域のために貢献された方に授与される勲章の受章を祝う会にて挨拶。

【小金宿まつり】
踊りの審査員を毎年拝命しています。地元愛たっぷりの素敵なお祭りです。

【和太鼓】
地元の太鼓を愛する皆様と。音色が聞こえると自然とワクワクします♪

【看護師】
地元の病院にてご挨拶。命を預かる仕事柄、緊張感と使命感のある朝礼に感銘。

【浴衣】
夏祭りもこれだけ浴衣姿がそろうといいですね。今年は私も浴衣にしようかな(笑)

【流山新橋】
上田知事とは埼玉県副知事時代からの盟友。両県の橋渡し役を担います。

【BBQ】
春は花見、夏はバーベキュー♪焼肉好きとして幸せなひとときです。

【賀詞交歓会】
国会閉会中の僅かな期間を利用し、地元の新年会を精力的にまわります。

【ミニバスケットボール】
小学生を対象にしたミニバス☆国際連盟もあり、地元でも大人気！

【おびしゃ】
東葛地域特有の新年行事。300年前から続く由緒ある文化に触れられます。

【アスリート】
白門会主催のアスリート教室に参加。幼い頃に得た貴重な体験は一生忘れないでしょう。

【防災・避難訓練】
いざという時、訓練以上のことはできないものです。毎年の実施に敬意と感謝。

小泉進次郎さんが、農林部会長になるときの経緯をこのように語っています。

文春新書「小泉進次郎と福田達夫」田崎史郎著　71頁抜粋

僕は、そこでは即答しなかった。「ちょっと考えさせてもらえますか」と言って引き取りました。それでいろいろ考えたときに、頭をよぎったのは、齋藤健さんのことでした。齋藤さんとは同期で、「四志の会」という勉強会をつくっているんです。２００９年の総選挙で自民党は４人しか初当選しなかった。だから、絆が強くて、その齋藤さんが前の農林部会長だった。齋藤さんは、「一番苦労するポストをやりたい。しかも自分が今までやってきていないところで汗をかきたい」と言って志願した結果、農林部会長を命ぜられた。その姿勢には尊敬する部分がありました。望んだ茨の道を歩むことに対する羨ましさもあった。今回はそういうことかもな、という感じが自分でしたんです。